

コリント 第二

③

「キリストの ラブレターとして」

コリント人への手紙Ⅱ 3章 心に刻まれた新しい契約

アウトライン

- 0. イントロダクション
- I. 使徒職の証明 1~6節
- II. 栄光ある務め 7~13節
- III. 心の覆いを除かれて 14~18節
- IV. まとめと適用

キリストのラブレターとして
栄光を現す者に変えられていこう



コリントの手紙第二とは？

- **著者** …使徒パウロ。
- **年代** …第一(55年)の2年後、57年頃。
- **執筆場所** …コリントへの途上、ピリピ。
- **対象** …コリントのキリスト者たち
(離散のユダヤ人と異邦人)
- **目的** …アフターケア。献金の促し。
非難への弁明。再訪問の備え。



パウロのコリント訪問

- ① 最初の訪問 (第二次旅行) ・ 1年半滞在 50年
- ② エペソ滞在中 (第三次旅行) 手紙 A を送付
第一の手紙を送付 54～55年
- ③ 二度目の訪問 (II コリ 13:2) 55年
手紙 B (悲しみの手紙) を送付
- ④ コリントへの途上で (ピリピ?)
テトスと合い、現状を聞く
第二の手紙を送付 55～56年
- ⑤ 三度目の訪問 55～56年



【コリントとコリント教会】

- アカヤ州(ギリシャ南部)の州都
国際都市。ローマ人、ギリシャ人…etc。
かなりの規模のユダヤ人共同体も存在。
- **不道德**の町。少年への性愛、複数の愛人。
神殿娼婦の存在。 **偶像崇拜**が蔓延。
- 異邦人信者が主流。偶像への警戒の薄さ。
基本的教理からの逸脱。自由のはき違え。

第一の手紙の後に変化はあったのか？



第二の手紙の特徴・テーマ

- 第一の手紙は、コリントの信徒もよく知っているはずの**信仰のイロハのイ**を確認するもの。
- 変化もあった一方で、パウロに強まる反感も。
 - ① グッドニュース…罪を犯した人の悔い改め
 - ② 残念なニュース…献金が集まっていない
 - ③ バッドニュース…パウロの使徒性への疑い
- **伝えるべきこと**は、第一の手紙に執筆済み。さらに加えるとすれば、**パウロ自身の思い**。
→ **感情**が強く表れた手紙になっている。



リーダーの視点で
読むべき手紙

パウロの思いをくみ取り、リーダーとして私の信仰を成長させよう



I. 使徒職の証明

Ⅱコリント2章1～6節

【推薦状は必要か？】 II コリント 3:1

私たちは、**またもや***自分を推薦しようとしているのでしょうか。それとも、**ある人々のように***、あなたがたに宛てた推薦状とか、あなたがたからの推薦状とかが、私たちに必要なのでしょうか。

*自分で自分を推薦した偽使徒だと、パウロを非難する人がいたのだろう。

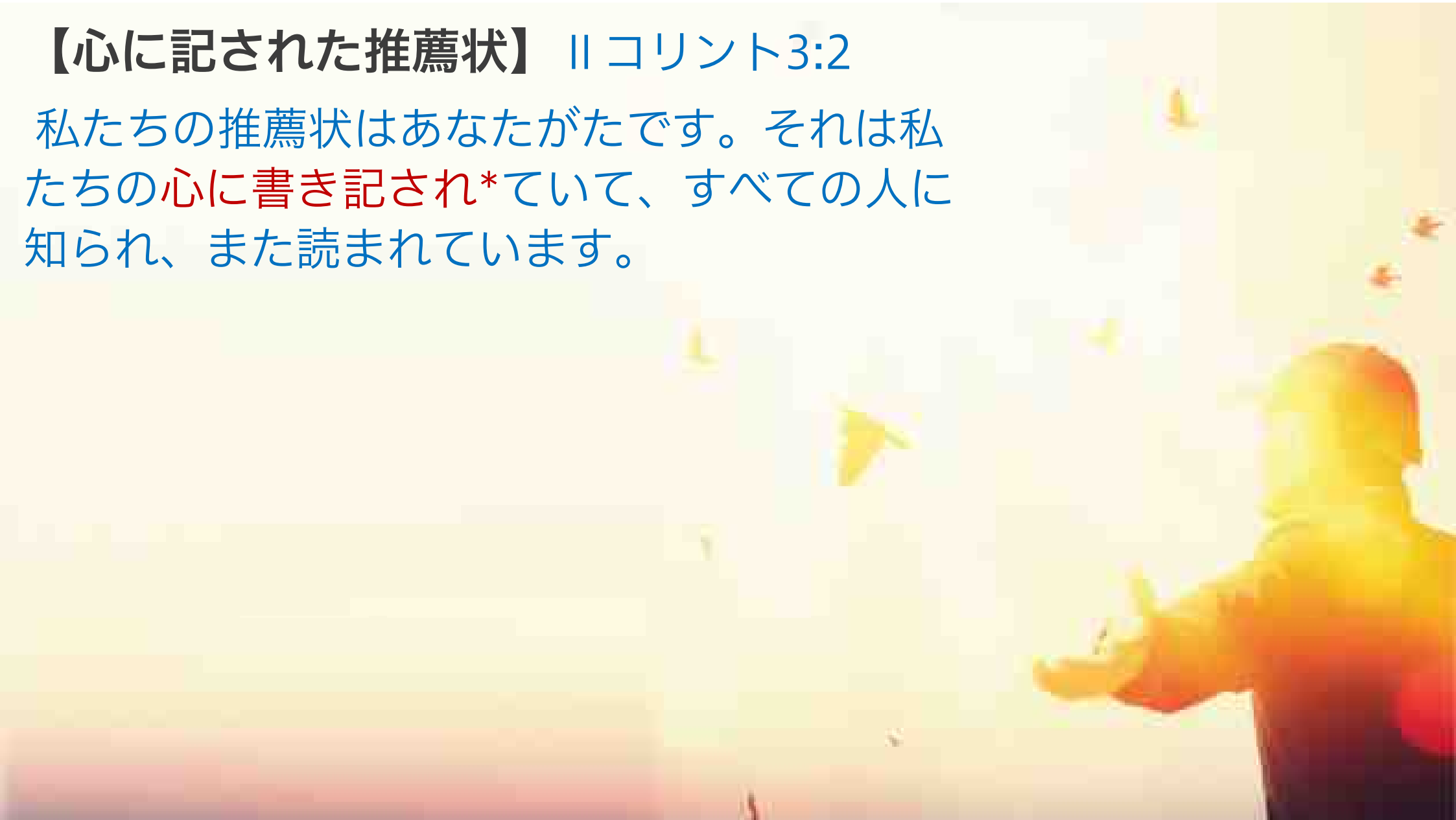
*推薦状はギリシャ世界での習慣だった？

■ 世的な権威づけを求める過ちを犯していないか



【心に記された推薦状】 Ⅱコリント3:2

私たちの推薦状はあなたがたです。それは私たちの心に書き記され*ていて、すべての人に知られ、また読まれています。



【心に記された推薦状】 IIコリント3:3

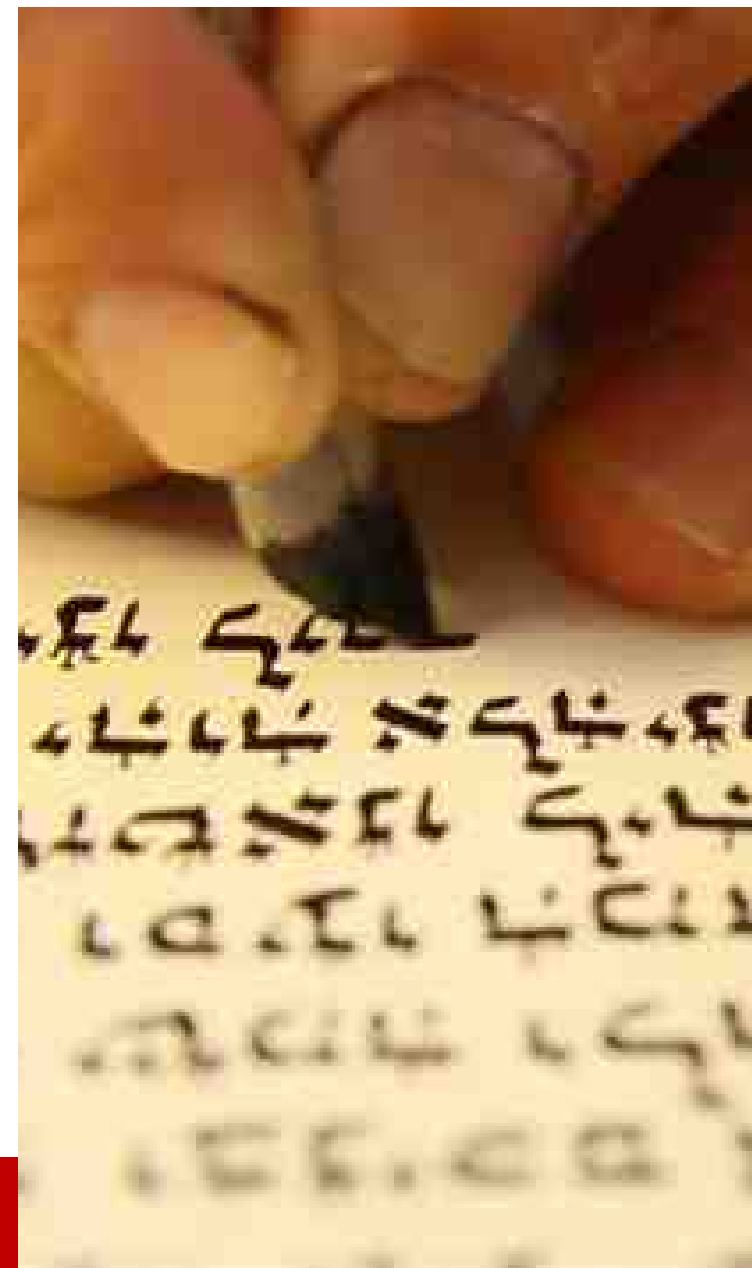
あなたがたが、私たちの奉仕の結果としてのキリストの手紙であることは、明らかです。それは、墨*によってではなく生ける神の御霊によって*、石の板*にではなく人の心の板*に書き記されたものです。

*律法 …十戒は石板に。墨で羊皮紙に。

*キリストの愛の律法

■福音を信じた者の心には、聖霊によってキリストの愛の律法が刻まれている。

信じた私たち自身が、キリストのラブレター



新しい契約

エレミヤ書31:31～33

見よ、その時代が来る——【主】のことば——。そのとき、わたしはイスラエルの家およびユダの家と、**新しい契約**を結ぶ。

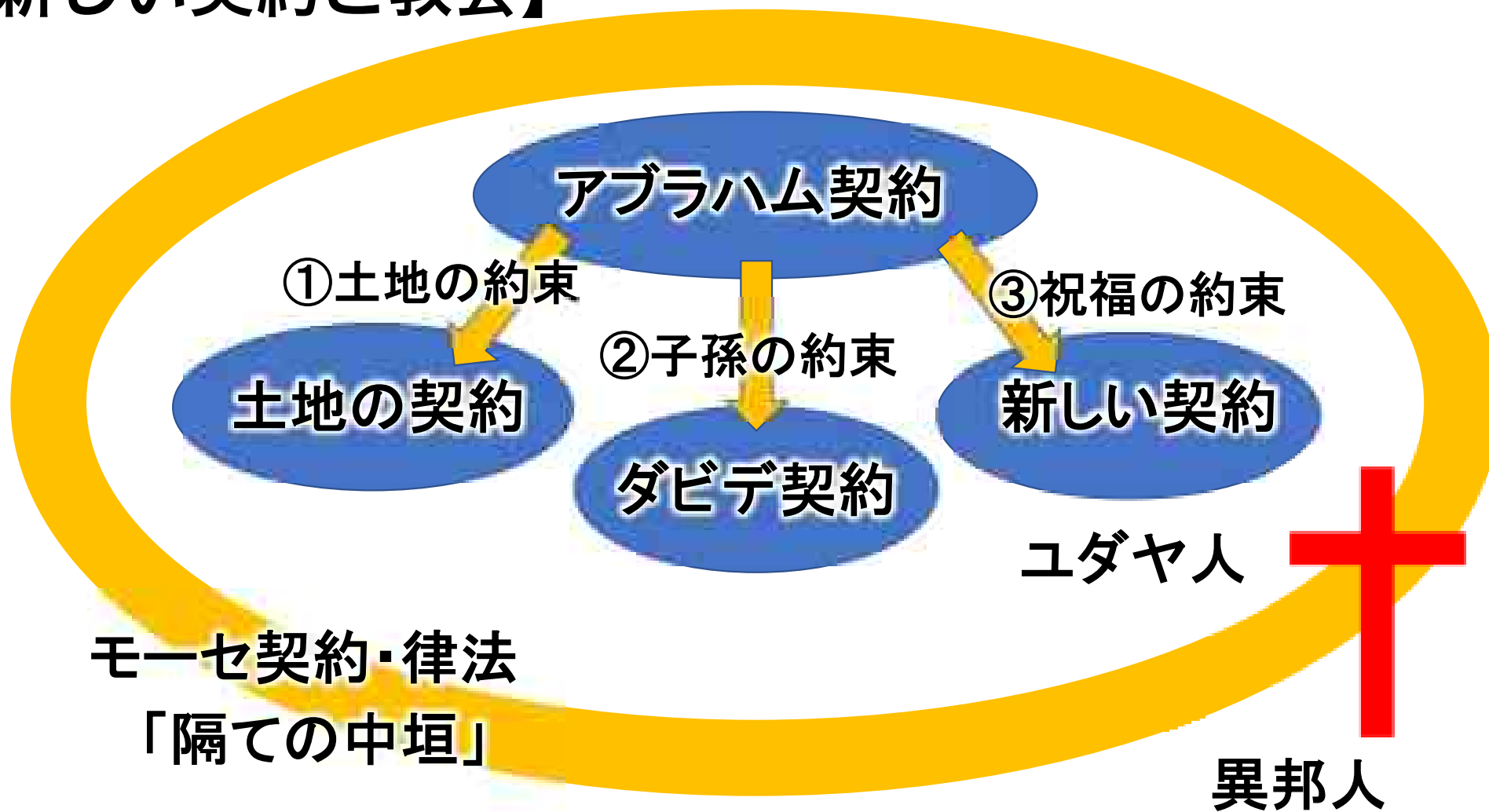
その契約は、わたしが彼らの先祖の手を取って、エジプトの地から導き出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破った——【主】のことば——。

これらの日の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうである——【主】のことば——。わたしは、わたしの律法を彼らのただ中に置き、**彼らの心にこれを書き記す**。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

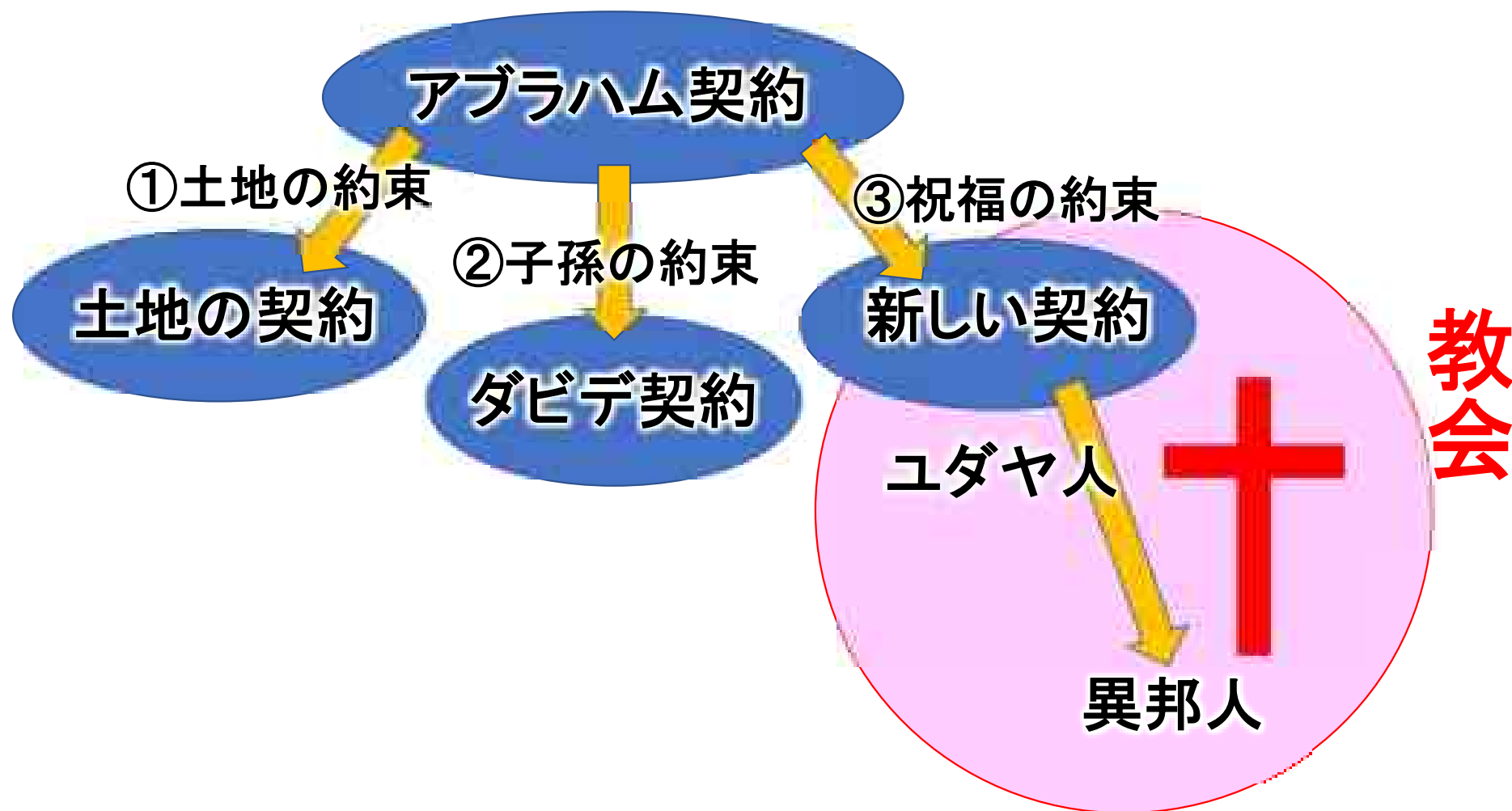
新しい契約とは？

- 南北時代の最後の預言者エレミヤに告げられた。
イスラエルが従い切れず、滅びを招いた律法とは異なり、
イスラエルの心に記され、すべてのイスラエルが神を知る。
- 最後の晩餐で、主イエスが弟子たち(イスラエル代表)と締結され、
ペンテコステに、**聖霊降臨**によって施行された。
- 究極的には、**大患難時代のイスラエルの民族的回心**を指す。
イエスをメシアと信じたイスラエルに**聖霊**によって永遠に刻まれる。

【新しい契約と教会】



【新しい契約と教会】



【信仰者の資格】 IIコリント3:4~5

私たちはキリストによって、神の御前でこのような確信を抱いています。

何かを、自分が成したことだと考える資格は、私たち自身にはありません。私たちの資格は神から与えられるものです。

■ クリスチャンに与えられた資格とは？

→ 神の子、キリストの体の一部に新生し、神の祭司、御国の永遠の民、キリストの共同相続人、王となる。



すべては
一方的な神の恵み

【生かす御霊】 Ⅱコリント3:6

神は私たちに、**新しい契約**に仕える者となる資格を下さいました*。文字に仕える者ではなく、御霊に仕える者となる資格*です。文字は殺し*、**御霊は生かす***からです。

*ただ福音を信じたことで与えられた資格

*信じた者に、聖霊が内住されている。

*律法は、破ったイスラエルを滅ぼした。

***新しい契約**では、**聖霊**の助けによって、
キリストの愛を生きる者と変えられていく。





Ⅱ. 栄光ある務め Ⅱコリント3章7～13節

シナイ山

【神の栄光の反射】 II コリント3:7

石の上に刻まれた文字による、死に仕える務めさえ栄光を帯びたものであり、イスラエルの子らはモーセの顔にあった消え去る栄光のために、モーセの顔を見つめることができないほどでした。

- 岩間から栄光の神の後ろ姿を垣間見た後、しばらくモーセの顔は輝いていた。
 - ➔ 神の栄光を反射して、残り香のように。
- 栄光のわずかな反射すら恐れを生じさせた。



罪ある人は誰も、
神の栄光を
直視できない

神の栄光の反射

出エジプト記34:30～33

アロンと、イスラエルの子らはみなモーセを見た。なんと、彼の顔の肌は輝きを放っていた。それで彼らは彼に近づくのを恐れた。

モーセが彼らを呼び寄せると、アロンと、会衆の上に立つ族長はみな彼のところに戻って来た。モーセは彼らに話しかけた。

それから、イスラエルの子らはみな近寄って来た。彼は【主】がシナイ山で告げられたことを、ことごとく彼らに命じた。

モーセは彼らと語り終えると、顔に覆いを掛けた。

【栄光に満ちる務め】 Ⅱコリント3:7~8

そうであれば、御霊に仕える務め*は、もっと栄光を帯びたものとならないでしょうか。

罪に定める務め*に栄光があるのなら、義とする務め*は、なおいっそう栄光に満ちあふれます。

*シナイ契約・律法に従うこと。

*新しい契約・キリストの律法に従うこと

■主イエスの命令、使徒たちの教えに従うとは、

→聖霊に仕え、救いの福音を伝えること。

使命に歩めば、必ず素の栄光が満ち溢れる



【信者が示すべき栄光】 II コリント 3:10~31

実にこの点*において、かつては栄光を受けたものが、それよりさらにすぐれた栄光のゆえに、栄光のないものになっているのです。

消え去るべきものが栄光の中にあっただのなら、永続するもの*は、なおのこと栄光に包まれているはずです。

*メシアの御業の成就、新しい契約の施行。

➔かつて栄光を与えた律法は役目を終えた。

*福音を信じた者には、聖霊が永遠に内住。

あなたを通して神の栄光は現れているか？



私たちの言行の
一つ一つが
問われている。

【信仰者の望み・力】 Ⅱコリント3:12~13

このような望み*を抱いているので、私たちは
きわめて大胆にふるまいます*。

モーセのようなことはしません。彼は、消え
去るものの最後をイスラエルの子らに見せな
いように、自分の顔に覆いを掛けました。

- *主イエスに従う信者に現れる神の栄光が、
信じて救われる人を起こし、栄光で満たす。
- *罪ゆるされた者として、主の御顔を仰ぎ見、
聖霊に助けられて、主の栄光を世に示す。



虜囚の身でも
被告席でも
大胆に福音を
宣言した使徒たち



Ⅲ. 心の覆いを除かれて Ⅱコリント3章14～18節

【鈍くされた子ら】 II コリント 3:14

しかし、イスラエルの子らの理解は鈍くなりました。今日に至るまで、古い契約が朗読されるときには、同じ覆いが掛けられたままで、取りのけられていません。それはキリストによって取り除かれるもの*だからです。

*律法がイスラエルにかけた覆いは、

イエスをメシアと信じて取り除かれる。

■大患難時代のイスラエルの民族的回心によって、新しい契約は完遂される。



異邦人が多数の
コリント教会にも
イスラエル中心で
話し通すパウロ

【救いはいつでも】 II コリント 3:15~16

確かに今日まで、モーセの書が朗読されるときはいつでも、彼らの心には覆いが掛かっています。しかし、人が主に立ち返るなら、いつでもその覆いは除かれます。

■ 律法に固執し、イエスをメシアと認めない頑ななユダヤ人も、悔い改めて福音を信じるならば、その瞬間に救われる。

➡ 主の栄光を輝かす者に変えられる。



【聖霊がもたらす自由】 IIコリント3:17

主は御霊です。そして、主の御霊がおられるところには**自由***があります。

*罪の束縛からの自由

人に罪を突きつける律法からの自由

■ 律法は、あらゆる人の罪の罪状書き。

有罪宣告をすべての人に突きつける。

→誰も逃れられない罪と裁きと滅びがある。

■ 主イエスの福音を信じた者は、罪ゆるされ、聖霊が内住し、神の怒りから解放される。



【栄光から栄光へ】 II コリント3:18

私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、鏡のように主の栄光を映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさに、**御霊**なる主の働きによるのです。

■福音を信じて救われ、覆いを取り除けられる。

➔ここから始まるクリスチャンの歩み。

成長をもたらすのは、**聖霊**の助け。





IV. まとめと適用

キリストのラブレターとして

律法が果たした役割

- 律法は、すべての人の罪を暴き、突きつける。
誰も、罪を逃れ得ない。ダビデやソロモンすら大きな罪を犯した。
- 主イエスが語った山上の説教(マタイ5~7章)は、メシアの律法解釈。
心の中の思いすら、神の裁きを逃れ得ない。
→ まともに向き合えば絶望しかない。
- 主イエスが、私の罪のため十字架にかけられ、死んで葬られ、
死を打ち破って復活された。この福音を信じた者は罪ゆるされる。

罪を突きつける律法は、メシアの救いへ、民を導く養育係

福音が信じたクリスチャンに求められること

- ① 新しい契約の下、キリストの愛の律法に従う。
→ 主イエスの掟、使徒たちの教えに聞き従う。
- ② 福音を信じた者に内住される、聖霊に従う。
→ 内住される聖霊の導きに従う。
- ③ 結果として、キリストに似たものに変えられていく。

聖霊の導きに従うとは？

- 大前提は、日々御言葉に親しみ、**神の意図に従って聖書を学ぶこと。**
- 聖書は、全体で一つの書。
 - ➔ 主イエスの掟、使徒たちの教えの本質は、
聖書全体、神の計画の全貌を知ること、ようやく分かってくる。
- 弟子たちは、聖霊を受けて、主イエスから学んだ。(ヨハネ20:22)
 - ➔ **聖霊がもたらす最大の役割は、聖書の理解を助けてくれること。**

聖書の学びなしには、聖霊の助けは得られようもない。

聖霊の導きに従うために必要な態度

- 聖書の学びの深まりに応じて、罪の自覚も深められていく。
自分の弱さ、克服すべき課題が浮き彫りにされていく。
- 自分の罪と課題を自覚させられたなら、取り組む決意をしよう。
手放すべきものを手放し、なすべきことを実行に移そう。
- 実行していくその過程で、聖霊が私を助けてくださる。
自分ではどうしようもない問題に取り組む力を与えてくださる。
失敗も繰り返すが、チャレンジし続ける者は、必ず神の助けを得る。

聖書を学び、己の課題に取り組む者は、聖霊による自由を味わう

栄光から栄光へ

- 私は、変化、成長という身を結んでいるだろうか。栄光から栄光へ。救いの体験にとどまらず、歩み続けているだろうか。歩み続けている限り、少しずつでも着実に、私は変えられていく。
- 顔の覆いを除くように、手放すべきものを御霊は必ず示される。手放さず、執着し続けるなら、心は頑なにされていく。手放すと決意し、実行するなら、必ず聖霊が助けてくださる。
例) 去って行った人々に共通すること。私自身に示された課題。

日々打ち砕かれ、何十倍もの実を結ぶ、豊かな地へ変えられていこう

★ キリストのラブレターとして ★

- 私、あなたこそ、キリストの手紙。
福音で救われ、キリストの愛の律法が聖霊によって書き記された。
- 私自身を、神の愛の手紙、キリストのラブレターとして、
出会う人々に届けられているだろうか？



- 「はれる家」で、不安だったこと
気づかされ、教えられていること

★ キリストのラブレターとして ★

- 私、あなたこそ、キリストの手紙。
福音で救われ、キリストの愛の律法が聖霊によって書き記された。
- 私自身を、神の愛の手紙、キリストのラブレターとして、
出会う人々に届けられているだろうか？
- 携え、届けるべきは福音。福音宣教の使命に身を投じた者を
主は、人格と存在すべてを通して、愛の手紙として用いてくださる。
能力も才能も無関係。おどろくべき方法で主があなたを用いられる。

私が、キリストのラブレターだ。その事実生きる決意をしよう

「天のお父さま。わたしは、み子イエス・キリストが、

①わたしの^{つみ}罪^{あがな}を贖^{じゅうじか}うために十字架^しで死に、

②墓^{はか}に葬^{ほうむ}られ、

③三日^{みっかめ}目に復活^{ふっかつ}した^{しん}こと、を信じ^{しん}じます。

主^{しゅ}の恵^{めぐ}みによって、わたしは罪^{つみ}ゆるされ、新^{あた}しく生^うまれました。

キリストの愛^{あい}の律^{りっ}法^{ぽう}が、わたし^{こころ}の心^{きざ}に刻^きまれました。

どうか、聖^{せい}霊^{れい}の助^{たす}けによって わたし^かを変^かえ、

主^{しゅ}イエスの福^{ふく}音^{いん}の愛^{あい}の手^て紙^{がみ}として用^{もち}いてください。

主^{しゅ}イエス・キリストのみ^な名^なによって祈^{いの}ります。 アーメン」